

アイヌ施策推進地域計画 目標評価報告書

実施主体名	計画の名称	目標年度
白老町	白老町アイヌ施策推進地域計画	令和7年度

1. 目標の達成状況

アイヌ施策推進地域計画における目標	目標値 A	実績値 B	達成率(%) B/A	備考
①イオル事務所「チキサニ」利用者数	2,600 人/年間	2,017 人/年間	77.58 %	
②慰霊施設来場者数	2,700 人/年間	2,430 人/年間	90.00 %	
③アイヌ料理やアイヌの方々に縁のある食材を用いた郷土給食提供食数	3,000 食/年間	2,200 食/年間	73.33 %	3回実施
④ウポポイ年間パスポート町民対象無料券引換人数	4,980 人/年間	2,582 人/年間	51.85 %	
⑤アイヌ文化プロモーションイベント来場者数	16,000 人/年間	11,582 人/年間	72.39 %	大阪、広島
⑥食による来訪者おもてなしイベント来場者数	7,900 人/年間	6,725 人/年間	85.13 %	
⑦アイヌラッピングバス利用者数	40,500 人/年間	47,379 人/年間	116.99 %	町内循環バス、デマンドバス、交流促進バスの利用者数
⑧臨時改札利用者数	34,500 人/年間	30,419 人/年間	88.17 %	
⑨生活館利用者数	19,700 人/年間	24,957 人/年間	126.69 %	
⑩全国学力等調査による平均正答率の全道平均との差	0.0 点	-3.6 点	—	
⑪台湾との文化交流事業への双方の参加者数	20 人/年間	0 人/年間	0 %	令和7年度は未実施

アイヌ施策推進地域計画における目標	達成状況	備考
①イオル事務所「チキサニ」利用者数	イオル事務所「チキサニ」において開催しているアイヌ文化に関する各種体験事業については、安全対策を考慮した募集定員を設定していることなどもあり利用者数の達成率は77.58%に留まる結果となった。	

アイヌ施策推進地域計画における目標	達成状況	備考
②慰霊施設来場者数	慰霊施設の来場者数は目標値には至らなかったものの、令和6年度より2.5%の増となっており増加傾向にある。	
③アイヌ料理やアイヌの方々に縁のある食材を用いた郷土給食提供食数	アイヌの方々に縁のある食材を用いたふるさと給食については、アイヌ文化に精通した学芸員の監修を受け、担当スタッフが精力的に取り組んでいるが、児童生徒の減少もあり、提供食数の達成率は73.33%に留まる結果となった。	
④ウポポイ年間パスポート町民対象無料券引換人数	より多くの町民の皆さまに引き換えしていただくために、町の広報誌やSNS等を活用し定期的に周知を行ったほか、町民が集まる様々な場面において引換えについての呼びかけを行いました。引換人数の達成率は51.85%に留まる結果となった。	
⑤アイヌ文化プロモーションイベント来場者数	令和7年度は、大阪と広島の2カ所において開催したが、特に大阪会場においては多くの歩行者があったものの、午前中は移動目的の方が多く、足を止めることが難しかった状況などもあり、来場者数の達成率は72.39%と目標値には至らなかった。	
⑥食による来訪者おもてなしイベント来場者数	ポロトミンタラフェスティバルは、令和元年度から開催していることもあり認知度が高まってきていること、また、来場意欲を掻き立てるような新たなイベントを開催（ウポポイを絡めたスカイランタンフェスティバルやスタンプラリー）したこともあり、昨年の来場者数は下回ったものの達成率は85.13%と高い水準で推移している。	
⑦アイヌラッピングバス利用者数	ウポポイにおける特別展や各種イベントの開催、町内の観光施設や商業店舗等による来訪者の増加に向けた取り組みを行ったことや交流促進バス「ぐるぼん」も多くの方に認知されてきたこともあり、利用者数の達成率は116.99%と目標値を上回った。	

アイヌ施策推進地域計画における目標	達成状況	備考
⑧臨時改札利用者数	近年はJR以外にもレンタカーやバスなどの交通手段を利用する来訪者も増えてきて	

	いることなどもあり、利用者数の達成率は88.17%に留まる結果となった。	
⑨生活館利用者数	特に、令和5年度に改築し、令和6年4月から供用開始となった白老生活館において、アイヌ文化に関する伝承活動が盛んに行われていることにより、白老生活館の利用者数が大幅に増加（対前年比38.7%の増）したことなどもあり、利用者数の達成率は126.69%となった。	
⑩全国学力等調査による平均正答率の全道平均との差	令和7年度の実績値は-3.6点となり、令和6年度の-1.8点を下回る結果となったため、引き続き、全道の平均正答率を上回るよう学習支援を継続するものとする。	

本町のアイヌ施策推進地域計画では、数値目標を11項目設定しておりますが、令和7年度については、そのうち2項目の実績値が目標値を上回る結果となった。

なお、数値目標を設定している11項目のうち、9項目の実績値は目標値には達しなかったものの、6項目については70%以上の達成率（うち3項目は85%以上）となっているため、今後においても、さらに達成率が上がるよう、引き続き関係機関等と連携を強化し達成率の向上を目指すものとする。

## 2. 目標達成のために実施した各事業の進捗状況と効果

（文化振興事業：伝統的なアイヌ文化・生活の場の再生事業）

事業の進捗状況	事業実施主体
<p><b>【空間活用等事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 今年度もポロト地区、フシコベツ川、ポロト自然休養林地区において、アイヌ文化の保存伝承活動に必要な樹木やアイヌの有用植物を生育している周辺の雑草の除去、鹿食害対策、生育観察及び定期巡視など、アイヌ文化に関する体験交流事業を行う際の自然素材の維持管理を行った。</li> <li>■ 白老町におけるイオル再生事業の普及啓発のための拠点施設「しらおいイオル事務所 チキサニ」の管理運営のほか、子ども達を含む町内外の方々に対し、アイヌ民族の歴史や文化に関する学習の機会や情報を提供する場として、各種体験事業を実施し多くの方々に来訪いただいた。</li> </ul> <p><b>【自然素材育成事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 森野地区、ヨコスト地区において、アイヌの有用植物、穀物及び体験用野菜の試験栽培を行った。体験用野菜として栽培したジャガイモ、カボチャ等は順調に生育し収穫体験の際に活用した。</li> </ul>	白老町

<p><b>【体験交流事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域の関係団体と連携を図り、しらおいイオル事務所「チキサニ」や植栽エリアを活用し、四季折々のアイヌ文化に関する各種体験事業を実施した。</li> </ul> <p>《令和7年度の実績》 全22事業、参加者681名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 海のイオル 地引網体験2回 317名、食文化体験20名</li> <li>➤ 山のイオル 野外学習10名、森のアイヌ文化体験10名、穀物採取体験17名、冬の遊び8名</li> <li>➤ 川のイオル マレク・サケの解体等2回 70名</li> <li>➤ アイヌ文化体験・体感交流事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>教職員対象 延べ21名（道内の教職員向け）</li> </ul> </li> <li>➤ ミニ体験交流事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>ペネイモ作り、サッチェア作り等</li> <li>計11回 延べ161名</li> </ul> </li> <li>➤ アイヌ文化の普及啓発出前講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>出前講座 計3回 47名</li> </ul> </li> </ul>	
<p>事業の効果</p>	
<p>アイヌ文化の普及啓発活動やイオル再生事業に必要な自然素材の維持管理が適正に行われたとともに、アイヌ文化の理解促進に寄与する様々な体験事業を実施したことにより、アイヌ文化への関心や普及啓発に寄与した。</p>	

(文化振興事業：アイヌ文化保存・伝承活動推進事業)

事業の進捗状況	事業実施主体
<p>白老地域のアイヌ文化を確実に次代に継承することを目的に、育成プログラムに基づいた伝統手工芸の担い手育成のための事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 木彫講座、料理講座、アイヌ文化伝承者や自然ガイド育成のための文化や歴史に関する講座・視察研修を実施。</li> <li>■ 町内で活動するアイヌ文化工芸品制作者やサークル団体等と連携し、アイヌ文化工芸品PR展示会を開催。</li> <li>■ 白老歴史伝承事業として、町内のエカシ・フチの3名から白老地域のコタンのこれまでの歴史や旧アイヌ民族博物館時代の出来事などの聴き取り調査を実施。</li> <li>■ 今年度からアイヌ語話者育成講座を開講し、14名の受講者が4年間かけてアイヌ語の話者となるための講座を受講しており、4年後はアイヌ語による日常会話や子ども達などへアイヌ語を教えるためのスキルを身につけ、次代へアイヌ語を継承していくための取り組みを進めている。</li> <li>■ アイヌ文化の復興と理解促進、アイヌ語継承人材の育成を目的にアイヌ語研究のための教室を開催。</li> </ul>	<p>白老町</p>

<p>ローマ字筆録からの発音読み起こし、アイヌ語の日本語翻訳、研究活動及び編集作業を行った。</p> <p>成果品（書籍）は、北海道博物館や北海道立アイヌ総合センター、町内の小中学校、高等学校のほか図書館等などへ配布。</p> <p>■ アイヌ古式舞踊やアイヌ民族の伝統文化を次代に継承していくためには舞踊の技術も重要であるが、アイヌ古式舞踊や儀式を支えていくためには、儀式で用いるアイヌ民族の伝統的な衣装やゴザ、キナ、臼、杵などを制作できる技術が必要となるため、今年度はアイヌ古式舞踊の伝承に必要なキナと陣羽織を制作した。</p>	
<p>事業の効果</p>	
<p>■ 白老地域のアイヌ文化を確実に次代に継承することを目的に、育成プログラムに基づいた伝統手工芸の担い手育成のため各種講座を行ったことで、アイヌ文化や歴史を参加者自ら伝承していく意識を深めることができた。</p> <p>また、町内で活動するアイヌ文化工芸品制作者やサークル団体と連携し、アイヌ文化工芸品PR展示会を開催したことで、制作過程での情報交換やより高度な技術を磨く意欲の向上に繋がり、アイヌ文化普及啓発活動のさらなる推進と展示会場である中心市街地（大町商店街）への回遊性向上効果も得られた。</p> <p>■ 町内のエカシ・フチからの聴き取り調査を実施したことで、白老地域の歴史について古老から学ぶことができたとともに、後世へ語り継ぐための取り組み強化にも繋がった。</p> <p>■ アイヌ語話者育成講座を開講したことで、今後、アイヌ語による日常会話が可能な伝承者の育成、さらには、子ども達をはじめとする次代へのアイヌ語に継承など、アイヌ語の復興と伝承活動のさらなる推進につなげることができた。</p> <p>■ アイヌ語研究のための教室を開催したことで、失われつつあるアイヌ語を保存し、地域の方々が主体となってアイヌ文化の伝承活動を推進していく意識を高めることができた。</p> <p>また、成果品（書籍）を北海道博物館、北海道立アイヌ総合センター、町内の小中学校、高等学校のほか図書館等などへ配布したことで、アイヌ語研究に携わる他団体と共有し、さらなるアイヌ文化普及啓発活動の推進に繋げることができた。</p> <p>■ アイヌ古式舞踊やアイヌ民族の伝統文化を次代に継承していくために必要なキナや陣羽織を、伝承者が講師のもと、アイヌ文化を継承していくメンバーで制作したことにより、アイヌ民族の伝統技術を継承できたとともにアイヌ古式舞踊やアイヌ民族の伝統文化の継承活動に寄与することができた。</p>	

（文化振興事業：アイヌ伝統等普及啓発事業）

事業の進捗状況	事業実施主体
<p>【① 学校給食】</p> <p>■ 町内小中学校の給食におけるアイヌ文化に関する食材を活用したメニュー（ふるさと給食）の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ アイヌ伝統料理（オハウ等）を年3回提供</li> <li>➤ アイヌ文化に関する食材や食文化等の説明用チラシを学校や各家庭へ配布</li> </ul>	<p>白老町</p>

<p style="text-align: center;">➤ アイヌ文化に関する食材カレンダーの毎月発行</p> <p><b>【② ふるさと学習】</b></p> <p>■ 町内小中学校のふるさと学習におけるアイヌの伝統や文化の理解促進のための体験学習（古式舞踊・子どもの遊び・伝統食の試食・アイヌ文様切り絵制作・アイヌ文様彫刻・アイヌ文様刺繍・ムックリ制作演奏）を実施した。</p>	
事業の効果	
<p><b>【① 学校給食】</b></p> <p>■ 町内小中学校の給食において、アイヌ文化に関する食材や調理法を活用したメニューの提供とともに、食材カレンダー、説明用チラシ、町ホームページにおけるアイヌ文化に関する食材及び食に関するコラム、献立メニューの紹介を掲載したことで、アイヌ民族の食文化に関する理解促進を図ることができた。</p> <p><b>【② ふるさと学習】</b></p> <p>■ 町内小中学校のふるさと学習において、児童生徒の年齢に応じ、アイヌ古式舞踊・子どもの遊び・伝統食の試食・アイヌ文様切り絵制作・アイヌ文様彫刻・アイヌ文様刺繍等の多様な体験学習を実施したことにより、楽しみながら地域のアイヌ文化を理解する機会を創出し、義務教育期における児童生徒への地域のアイヌ文化の理解を一層深めることができたとともに、ふるさとへの愛着や誇りを育むことができた。</p>	

（文化振興事業：ウポポイ町民利用促進事業）

事業の進捗状況	事業実施主体
<p>■ 高校生以上の町民を対象にウポポイ年間パスポート無料引換ハガキを郵送し、ウポポイの窓口においてウポポイ年間パスポートを無料で取得していただいた。</p> <p>■ 引換分の年間パスポートの料金（大人 2,000 円、高校生 1,000 円）を町が負担する方式で実施。</p>	白老町
事業の効果	
<p>■ 町民向け年間パスポートの引換ハガキを送付したことにより、ウポポイ内でのイベント等に気軽に参加できる機会を創出したことで、町民がウポポイを訪れる利便性を向上させることができ、ウポポイへの誘客促進に寄与した。</p> <p>《令和 7 年度のウポポイ年間パスポートの町民無料引換件数》 2,582 名（大人 2,550 名、高校生 32 名）</p>	

（地域・産業振興事業：アイヌ文化関連の観光プロモーション・商品開発事業）

事業の進捗状況	事業実施主体
<p>■ ウポポイ、白老地域のアイヌ文化及び白老町の地域資源や観光PRを目的とした道外の都市部におけるプロモーション活動を実施した。</p> <p>《令和 7 年度の道外プロモーション開催地》大阪市、広島市</p> <p>■ 町外からの来訪者が迷うことなくウポポイへ行けるよう、町内の主要箇所の電柱（84 本）に案内誘導看板を継続して掲示。</p>	白老町

<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ウポポイ等への誘導案内と白老駅北側エリアの賑わい創出の一環として、白老駅自由通路北口前に設置している大型のターポリン幕看板をデザインも含めリニューアルしたほか、白老駅北口からウポポイまでの動線上にウポポイへの誘導看板を設置した。</li> <li>■ 白老地域のアイヌ文化の価値をさらに高めるための新商品開発に向けた調査研究等を行った。</li> </ul>	
<p>事業の効果</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 道外プロモーションにおいて使用する各種パンフレットと併せて配布する普及啓発用のノベルティを、町内のアイヌ関連団体と連携のうえ準備しPRイベントにおいて来場者へ配布したことで、ウポポイ、地域のアイヌ文化、白老町の観光PRに加え、ウポポイPRキャラクター「トゥレツポん」の周知や普及啓発にも寄与した。</li> <li>■ 令和7年度に実施した道外2都市（大阪、広島）でのPRイベントにおいて、延べ11,582人の来場者に対して、ウポポイ、地域のアイヌ文化及び白老町の魅力を発信することができた。 来場者との対話の中で「もうウポポイに行きました」、「今年か来年には、ぜひウポポイへ行きたい」など、多くの方々から嬉しいお話を聞くことができたとともに、広島においてもウポポイの認知度が高まってきていること、また、興味を持っている方が多いことも直に実感することができた。</li> <li>■ 町内主要箇所の電柱（84本）にウポポイへの案内誘導看板を継続掲示したことで、町内の機運醸成と来訪者への利便性向上に寄与することができた。</li> <li>■ ウポポイ等への誘導案内と白老駅北側エリアの賑わい創出の一環として、白老駅自由通路北口前に設置している大型のターポリン幕看板をデザインも含めリニューアルしたほか、白老駅北口からウポポイまでの動線上に、ウポポイへの誘導看板を設置したことで、ウポポイへの来訪者の利便性向上等につながった。</li> <li>■ これまで、アイヌ政策推進交付金を活用しアイヌ関連団体において商品開発事業を行ったことで、新商品を検討・開発していくための流れや検討体制の構築・商品化後の販売展開など、これまでの実績において蓄積したノウハウを活かし、今後における新商品開発事業を推進するための基盤を構築することができた。</li> </ul>	

(地域・産業振興事業：食による来訪者おもてなし体制整備事業)

事業の進捗状況	事業実施主体
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ウポポイ及び中心市街地周辺の賑わい創出や来訪者の回遊性向上のため、ウポポイと白老駅との動線上に立地するポロトミンタラ（白老駅北観光インフォメーションセンター）を中心とした白老駅北観光商業ゾーンを会場に、おもてなしイベント（ポロトミンタラフェスティバル）を開催（8月と2月）し、本町のアイヌ文化や豊かな食資源、特産品、観光資源など、多様な魅力を幅広く発信可能となる体制を構築した。</li> <li>■ 今年度、初の試みとして、白老町ならではの夜の魅力拡大と、新たな価値の創出、滞在時間の延長、観光消費拡大を目的に、ウポポイ内において「しらおいスカイランタンフェスティバル」を開催した。</li> </ul>	<p>白老町</p>

<p>(8月と2月の計2回)。 参加者自らが、LEDライトを内蔵したランタンにアイヌ文様を描き、夜空にランタンを掲げることで幻想的な空間を創出した。</p> <p>■ ウポポイを中心とし、町内の店舗や施設、自然景観、アイヌ文化の認知度向上、来訪者の促進・周遊を目的にスマホスタンプラリーを実施した。</p>	
事業の効果	
<p>■ 令和7年度については、ウポポイ周辺エリアのポロトミンタラにおいて、おもてなしイベント（ポロトミンタラフェスティバル）を8月と2月に計2日間開催し、約4,900人の来訪者で賑わった。</p> <p>■ 8月と2月にウポポイ内で開催した「しらおいスカイランタンフェスティバル」では、町内外から約900人の参加があり、ウポポイの夜の賑わいに大いに寄与した。</p> <p>■ ウポポイを中心とし、町内の店舗や施設、景観、アイヌ文化の認知度向上、来訪者の促進・周遊を目的にスマホスタンプラリーを実施したことで、町内外から約900人の方が参加しウポポイや町内の店舗等を周遊したことから、ウポポイへの誘客とともに町内の賑わい創出に大きく寄与した。</p>	

(地域・産業振興事業：アイヌ文様ラッピングバス運行事業)

事業の進捗状況	事業実施主体
<p>■ 地域住民の交流の場、ウポポイ及びアイヌ関連施設等を拠点にアイヌの方々をはじめとした地域住民や来訪者の交通の利便性を確保するためにアイヌ文様ラッピングバスの運行のほか、さらなる利便性向上のための運行改善に向けたダイヤ・ルートの変更検討調査などを行った。</p> <p>《運行車両》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤地域循環バス 元気号 (マイクロバス)</li> <li>➤デマンドバス カムイ号 (ハイエース)</li> <li>➤交流促進バス ぐるぼん (日野ポンチョ：小型バス)</li> </ul>	白老町
事業の効果	
<p>■ 令和7年度についても、アイヌの方々をはじめとする地域住民と来訪者等の交通利便性を確保することを目的に、交流促進バス（ぐるぼん）、地域循環バス（元気号）の運行やデマンドバス（カムイ号）により、予約に応じたドア・ツー・ドアで運行するデマンドバスの運行を行ったほか、利用者の利便性向上のためダイヤ・ルート改正等の取り組みを行ったことで、アイヌの方々をはじめとし、ウポポイや本町への来訪者の利便性の向上を図ることができた。</p>	

(地域・産業振興事業：公共交通利便性向上のための受入体制整備事業)

事業の進捗状況	事業実施主体
<p>■ ウポポイの開業に伴う来訪者をはじめとした JR 利用者の増加を見据え、乗換こ線橋とウポポイへの動線である白老駅自由通路を直接行き来することができる臨時改札口を設置し、一般社団法人白老観光協</p>	白老町

<p>会が臨時改札口の管理運營業務を行っている。</p> <p>➤ 臨時改札口の管理運營業務 (切符の集札・定期券の確認、利用人数把握、日報作成、パンフレット等による観光案内等)</p>	
事業の効果	
<p>■ 臨時改札口の設置により、ウポポイへの来訪者のほか、アイヌの方々をはじめとする町民の移動の利便性向上に寄与した。</p> <p>また、来訪者に対し、必要に応じてスタッフがウポポイのご案内や観光案内を行うなど、効果的な観光PR等を行うことができた。</p> <p>《令和7年度の利用実績》30,419人</p>	

(コミュニティ活動支援事業：生活館改修・交流事業)

事業の進捗状況	事業実施主体
<p>■ 町内の生活館のうち、白老中央生活館を白老生活館に統合するため、令和5年度に白老生活館の改築工事(建物本体)を実施し、令和6年度に外構(駐車場等)もすべて完成したため、令和7年度は白老中央生活館の解体に向けて解体実施設計を行った。</p> <p>《多機能型生活館整備事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 白老中央生活館解体実施設計業務委託</li> <li>➤ そのほか、施設の経年劣化により不具合が生じていた町内の生活館4館(社台、川沿、萩野、北吉原)の不具合箇所の改修工事を実施。</li> </ul> <p>《生活館改修事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 各生活館修繕工事(社台、川沿、北吉原本町生活館)</li> <li>➤ 北吉原生活館 排水樹・舗装修繕工事</li> <li>➤ 萩野生活館 駐車場砂利敷き均し</li> </ul>	白老町
事業の効果	
<p>■ 白老生活館を多機能型生活館として改築したことにより、アイヌ文化の保存伝承活動を行っている様々なアイヌ関連団体やアイヌ工芸品制作サークルの活動に大いに活用されているほか、アイヌの方々をはじめとする町民の様々なコミュニティ活動の場としても広く利用されている。</p> <p>■ 老朽化による破損等により不具合が生じていた町内の生活館4館(社台、川沿、萩野、北吉原本町)の修繕工事等を行ったことにより、利用者が安全かつ快適に利用できるようになったことから利用者の利便性の向上に大いに寄与した。</p>	

(コミュニティ活動支援事業：アイヌ文化等を担う人材育成のための子どもの学習支援事業)

事業の進捗状況	事業実施主体
<p>■ 町内の小中学校5校に学習支援員を配置し、習熟度別授業の補助、複式学級授業の補助、放課後及び長期休暇中補習授業などを行った。</p>	白老町

### 事業の効果

- 本町の教育指針である「白老町スタンダード」に基づいた【学習環境の充実（学習の確実な定着）】による学力向上を進めるにあたり、各校が抱える学習課題克服によるアイヌ子弟をはじめとする児童生徒の学力向上のため学習支援員を配置し、苦手教科の重点的対策や主要教科及び主要教科以外の教科、生活支援を含めた総合的対策による学習の確実な定着を目指し、習熟度別授業や複式学級授業のほか、放課後の補習授業等、各校の実情に応じた形態の学習支援を推進したことで、各校児童生徒の実態に応じたきめ細やかな学習支援が行われ、児童生徒の習熟度向上による基礎学力の定着化が図られた。

### 3. 今後の方針等

本町は、令和元年度に白老町アイヌ施策推進地域計画を策定し、これまで数々の事業を行ってきておりますが、今年度で7年が経過したことから、次年度以降もこれまで培ってきたノウハウ、実績、成果を踏まえ、さらに町内のアイヌ関連団体やその他の関係機関との連携を密にし、ウポポイへの誘客活動の強化はもとより、アイヌ文化の普及啓発、地域のアイヌ文化の保存伝承の推進とともに、次代を担っていく人材の育成や組織体制の強化を図るための取り組みを推進するものとする。